

秘史発掘!

「24歳の女性を27人で輪姦」——
アメリカは従軍慰安婦非難決議にうつつを抜かす前に
この「戦後の犯罪」に対してきちんと謝罪すべきだ

封印されていた占領下の 米兵「日本人婦女子 凌辱事件」ファイル

外事

昭和二〇・八三一起
進駐軍不法行為

ジャーナリスト

水間政憲

MIZUMA Masahiko

共同通信社

(上) 1945年8月30日、厚木飛行場に降り立ったマッカーサーと米兵たち。
(右)「進駐軍の不法行為」を綴った「特高ファイル」(表紙)。

日本人は「言葉に出して、言いたてること」するの
が苦手な民族であるといわれる。米国で湧き起った「従軍慰安
婦非難決議」にたいして安倍首相や外務省の駐米大使が、正面切
って反論しないのはその典型なのかも知れない。しかし、ここに
提示される資料をもつてもなおも立ち上がらずにいられるだ
ろうか。怒りの発掘レポート、言葉げせよ、日本人!

4月26、27日に予定の安倍首
相初訪米の直後に米国下院議
会で採決されようとしている「従
軍慰安婦非難決議案」は、「日本
帝国軍隊が第2次大戦期に若い
女性たちを慰安婦として強制的
に性奴隷化(セックス・スレイ
ブ)したことに(略)謝罪する」
ことを日本に求めるものだ。前
文では「20世紀最大の人身売買」
であり「集団暴行、強制中絶、
殺害、手足切断など」の蛮行を
犯したと断じている。

「従軍慰安婦」については、史
料検証でその事実がなかったこ
とが証明されているが、詳述は
別稿(90ページ)に譲ろう。

ここでは、「戦争と性」の問題
を考える上でひとつの史料を提
供したい。それは、GHQ占領
下の日本人女性にたいする米兵
の「強姦事件」についてである。

マッカーサーが厚木に降り
立った直後に9件の強姦事件

占領初期のGHQ1945年
9月「月例報告」では、「日本人
は米兵に協力的であり、占領は

秩序正しく、流血なしで行なわ
れた」などと記載されている。
また、GHQ外交局長W・J・
シーボルドは「米軍」戦闘部隊
兵士の行動は、特に感銘すべき
ものであった。「米兵たちはジ
ヤップの女なんかには、手を出
す気もしない」と記している
(『マッカーサーの日本』197
0年刊、新潮社より)。

しかし、これら米国側の記録
は、事実ではない。
この米軍の「嘘」を暴く鍵は、
占領下の1945年10月4日に
解散させられた「特高(特別高
等)警察」(約6000人)の記
録の中にある。米軍進駐後、「特
高」は「治安維持法」に基づく
監視の必要もなくなり、もっぱ
ら進駐軍の素行調査をしていた。
前掲の『マッカーサーの日本』
にこの記録のことが一部記され
ており、原本をこの目で確かめ
てみたいと思った筆者は、国立
公文書館でこの資料を発見した。
手書きの原本が白日の下に晒さ
れるのは今回が初めてだろう。
そのファイルが377ページ

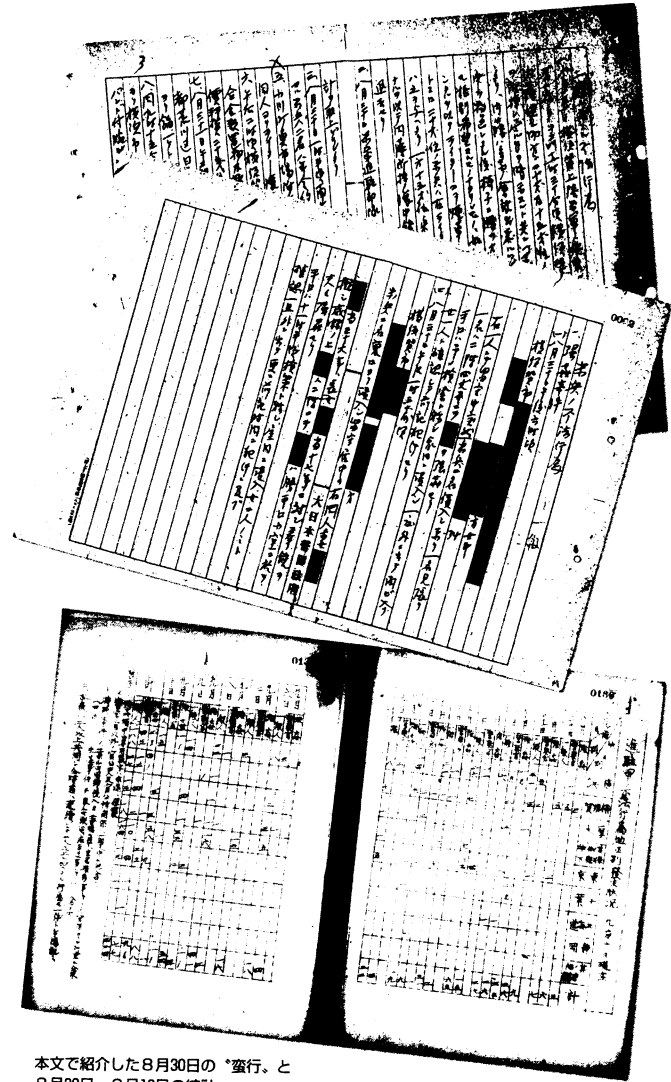
に及ぶ「進駐軍ノ不法行為」(内務省警保局外事課)である。マツカーサーが厚木に降り立った8月30日から10月4日の解散命令までの米軍の不法行為を特高警察が取り調べたファイルの内務省警保局がまとめたものだ。

ファイルによれば1945年8月30日〜9月10日の12日間分だけでも強姦事件9、ワイセツ事件6、警官にたいする事件77、一般人に対する強盗・略奪など424件(この中には、後述するような理由で強姦事件も含まれていると考えられる)。特別事件として「葉山御用邸侵入」「二重橋ニ侵入皇居撮影事件」「宮様御用列車ニ同乗未遂事件」などが発生している。

「特高」は解散命令が出た10月4日の記録も残している。その日の記録には「各種学校、倉庫等ニ侵入シ保管品等ヲ不法徴発被害発生場所 屋内10件 屋外10件」「両国ノ浴場ニテ女性暴行未遂事件」などがある。

掠れたページもあり、正確な数字ではないが、全ファイル約1か月間で少なくとも強姦37件(未遂を含む)、その他の不法行為が945件を数える。

実際、「特高廃止」指令が出る前、全国の「特高」は、書類を焼却してしまった。しかし、「特高」の元締「内務省警保局」の



本文で紹介した8月30日の「強姦」と8月30日〜9月10日の統計。

秘密報告書は焼却されず、この米軍の不名誉な記録は、没収され、米国に持ち去られたのだ。その後、実は1973年12月日本に返却され、翌年1月から、国立公文書館に所蔵されていた。

妻36歳、長女17歳に対し拳銃で脅して……

米軍の不法行為を明らかにする前に、敗戦後、日本政府が日本女性を米軍の「性の暴力」からいかに守るか、苦心(くしん)惨憺(たんたん)した様子を少し述べてみたい。日本政府が「慰安所」設置に直接関与したのは、戦時中でなく占領下の米軍(進駐軍)のためだったのだ。

1945年8月21日の閣議で近衛文麿國務相が、米軍兵士用

の慰安所の設置を主張し、池田勇人主税局長の裁断で5000万円の貸し付けが決定し、1945年8月28日「特殊慰安施設協会」(後に、国際親善協会RAAと改称)が設立された。

その目的は、「関東地区駐屯軍将校並びに一般兵士の慰安施設」となっていた。GHQは、1945年9月28日、都内の占領軍人用元春街を指令している。しかしこれでも日本人婦女の貞操が守れなかったのである。実際は主権回復後まで膨大な数の女性が「強姦」されていた。

ファイルに記された調査をつぶさに見ていこう(公開された文書は被害者の氏名などが黒塗りにされており、その部分は省略して記す)。強姦事件は、米軍

の進駐とほぼ同時に始まっている。8月30日は横須賀に海兵隊が上陸した日だが、いきなり事件が発生している。

〈強姦事件〉

(一) 八月三十日午後六時頃 横須賀市〇〇方女中、34 右一人ニテ留守居中、突然米兵二名侵入シ来リ、一名見張り、一名ハ二階四畳半ニテ〇〇ヲ強姦セリ。手口ハ予メ検索ト称シ、家内ニ侵入シ、一度外ニ出テ再ビ入り、女一人ト確認シテ前記犯行セリ

(二) 八月三十日午後一時三十分頃 横須賀市〇〇方。米兵二名裏口ヨリ侵入シ、留守居中ノ右同人妻当〇〇三十六年、長女〇〇当十七年ニ対シ、拳銃ヲ擬シ威嚇ノ上、〇〇ハ二階ニテ、

〇〇ハ勝手口小室ニ於テ、夫々強姦セリ(以下略)

同9月1日、房総半島に米軍上陸。ここでも事件発生。

〇〇方ニ侵入セル米兵三人ニ留守番中ノ妻(二八)(中略)奥座敷ニ連行、脅迫ノ上、三人ニテ強姦セリ)

〈九月一日午後六時頃 トラックニ乗リタル米兵二名(中略)市内〇〇ニ来リ女中一名(24)連レ去リ(中略)野毛山公園内米兵宿舍内ニ於テ米兵二十七名(二)輪姦サレ假死状態ニ陥リタルモ(中略)三日米兵ニヨリ自宅迄送り届ケラレタリ)

このような記載が「特高」解散の10月4日まで続く。

〈九月十九日夜十一時頃(横浜)市保土谷区、出征中〇〇妻(27)、(中略)ニ侵入シ「ジャックナイフ」テ情交ヲ迫リ、被害者之ヲ拒否シテ戸外ニ逃避セルヲ(中略)畠(畑)ニ連行、三名ニテ輪姦シタル。更ニ通中ノ三名ノ黒人兵方同所ニ於テ輪姦逃走セリ)

調査を総覧すると、米兵の蛮行が眼前に浮かんでくる。

警察官はいたるところで暴力を振るわれ、拳銃を取り上げられている。一般人は、「乗用車」「ラジオ」「現金」「腕時計」「背広」や「ゲタ」まで、手当たり次第に強奪されていた。

〈九月二日午前十一時三十分頃 武装米兵六名ハトラックニテ横 浜市中區山手町二二番地共立 女学校内、校長神保勝也ニ侵入 各室ヲ物色シタル後現金二千七 百十圓及ウオルサム腕時計一個 ヲ強奪逃走セリ〉

とこのような「強奪逃走せり」 が続くのだ。

その中に、首を傾げたくなる 記述がある。それは「民家に米 兵が押し入り、若い女性から腕 時計だけ強奪して逃走せり」と の記述が散見することである。

貞操は取り返すことができず と、せめて当時、貴重だった 「腕時計」だけでも、取り返した いたの思いから被害届を出して いたのではと思われる。先述し た945件の強盗・略奪に強姦 (あるいは強姦未遂) も入って いるのではないかと考えるのは このためである。

このような状況は、神奈川県 民を震撼せしめたであろう。当 時の朝日新聞(1945年9月 5日付)は三段見出しで「神奈 川県の女生徒は休校 教職員が 家族を巡回指導」と記している。

しかし、9月19日、GHQ「ブ レスコード」が発令されて以後 は米兵を批判する記事は、新聞 紙面からすべて消えている。こ れで米国は、「強姦」など人道し 上の米軍の犯罪を封印できたと思

えたであろう。しかし記述のよ うに「特高」の調査は、言論統 制されてからも継続して綴られ ていたのだ。

青少年性犯罪者が「米兵の 真似して何が悪い」と開き直る

当時の憤りを取材して『黒い 春(米軍・パンパン・女たちの 戦後)』を1953年に五島勉氏 が出版している。その内容は、 調書よりも残酷さがひしひしと 伝わってくる。五島勉氏は19 48年から調査を開始し、本人 やその家族・友人・事件の目撃 者など1000人にも及ぶ面接 にもとづいて占領下の空白時期 をまとめた。



共同通信社

進駐軍向け慰安施設の一環として利用された銀座のキャバレー(1945年撮影)。

その中の、元外務省外局・終 戦連絡委員会横浜事務局の北林 余志子氏の作成した米軍の横浜 市内と県下の一部を含む、不法 行動リストによると、10月末日 までで強姦29件となっている。 しかも、届け出ない件数は数十 倍になると証言しているのだ。

五島氏は「印刷ミスではない」と断わってこう記す。
「T子(十一歳・武蔵野市小学 五年生) R子(同) A子(同)の 三人は、十月(中略)武蔵野の 林のなかを仲よく手をつないで 歩いてた」
〈キャンブ・トコロザワの近く で夢中でスケッチをしていると、 まずR子がおそれ、次々に米 軍の餌食になってしま ったのだ。彼女達の スカートは切られ、 何が起ったのか全 然わからなかった。 R子とA子は気絶し、 T子はまた泣き叫ぶ と、アメリカ兵は彼 女の顔を蹴り、ジュー で去った(要旨、 以下同)〉

このような事件が 全国で続発している 中で、1946年4 月東京・大森で恐ろ しい事件が勃発した。 (N病院(中村病

院。その後廃業し、跡はビルと 道路になった)は三台のトラッ クに分乗した米兵によって、お よそ一時間ちかくも病院じゅう を荒らされた。彼等の総数は二 百人とか三百人とかという説も ある。婦人患者のうち重症者を のぞく四十数人と看護婦十七人、 ほか十五ないし二十人の付添 婦・雑役婦などが凌辱された」

「彼等は大病室に乱入し、妊婦・ 産婦・病気の婦人たちのふとん を剥ぎとり、その上にのりかか った」二日前に生まれたばかり の赤ちゃんフミ子ちゃんは、一 人の兵隊にユカに蹴落とされて 死んだ」M子などは続けさまに 七人の兵隊に犯され、気絶した」

そして、「裸でころがっている あいだを通して、侵入してきた とときと同様、彼等は表玄関と裏 口から引き揚げていった」―― 慄然とする内容である。
安倍首相や駐米大使がひたす ら日本は既に「謝罪している」として、逆に「従軍慰安婦」を 既成事実化するかのような姿勢 であるのたいして、自民党の 戸井田とおる議員は2月21日の 衆院内閣委員会でもこう質した。
「決議案を提出した」マイク・ ホンダ議員に翻訳して差し上げ てもらいたい資料がでてきまし た。(中略)これは、官報号外、 昭和28年2月27日に載った第15

回国会の社会党の藤原道子議員 の質問の議事録です。(中略)こ こにはこのように書かれてあり ます。「米軍の暴行事件は、昨年 十二月まで独立後」独立後です よ、「八ヶ月間におさまして千八 百七十八件を教え、なお泣き寝 入りになっております件数は 膨大な数である」と想像されて おります」

戸井田議員は、この資料で米 国に攻めに転じよと言っている わけだ。同官報にはこう続けら れている。
「各地における青少年の特に性 犯罪、学童の桃色遊戯等の取調 の際、彼らは係官に対して、ア メリカ兵の真似をしたことがな ぜ悪いかと反問し、大人の世界 に精一杯の抗議をいたしておる のであります」

いまだ数々の戦争犯罪に対し て、一度も謝罪したことのない 米国に、なぜ毅然とした態度で 挑まぬのか。米国は、日本を非 難する前に、ワシントン国立公 文書館や米軍公文書館で調査し てみよう。
慰安婦非難決議の第4項にこ うある。
「現在と未来の世代にわたり、 このようなおぞましい犯罪があ ったことを教育せよ」
この言葉、そっくりそのまま 米国にお返しする。

*加藤良三・駐米大使は決議案が提出されている米国下院議会に、日本政府は慰安婦問題の責任を認めて謝罪を済ませている、元慰安婦への補償としてアジア女性基金に4000万ドルを拠出している、などの言葉を送った。